

議 長 日程第14「報告第6号有限会社みやまの里の経営状況について」を議題とします。

本件も報告事件でありますので、担当課長の報告を求めます。

観光経済課長 それでは報告第6号有限会社みやまの里の経営状況につきましては報告をさせていただきます。

1枚おめくりいただきまして、1ページ目でございます。こちらには有限会社みやまの里法人の概要を記載してございます。設立は平成8年、資本金は500万円、役員等のお名前を記載してあるものでございます。

おめくりいただきまして2ページ目でございます。令和2年度の事業報告ということで、年間を通じた活動状況の報告がでございます。御案内のとおり、コロナ禍によりまして施設の休館がございました。4月の27日から6月の23日まで記載をしておりますが、この期間は休館をしてございます。また若葉まつりやロウバイまつり、こういった事業との連携も例年であればございましたが、こちらのほうも中止ということでございました。

3ページ目を御覧ください。令和2年度の利用人数というのは施設等の利用状況を記載してございます。月別に回数、人数が記載されております。下の合計欄を見て…太枠のところですね、表の下段のほうに合計欄が記載しております、さらにその下に1枠、前年度との対比がでございます。こちらを見ていただくとお分かりのとおりですね、管理センターにつきましては約70%の減、グラウンドも60%の減と。非常に休館も含めた部分もありますが、やはりコロナ禍の影響を大きく受けておると。テニスコートだけがですね、ただ40%増ということで、こちらは利用回数が増えたという部分もでございます。

1枚おめくりいただきまして、4ページ目でございます。損益計算書でございます。細かく数字全部は申し上げませんが、まず科目名のほうで幾つか項目がでございます。一番上のほうに売上高。これがやはり施設の利用とのリンクがでございます。そういった中で、グラウンド、テニスコート、こういったもの全て含めましてですね、右側に金額が記載しております。245万6,820円。これは昨年度と…一昨年度ですね、令和元年度と比較しますと、令和元年度が377万

4,699円。やはり130万ほど売上げが減ってしまったということです。ただ、すみません、245万6,820円の下のほうにですね、販売費・一般管理費ということで、485万7,817円が記載しております。こちらがいわゆる支的的な部分ということで御理解をいただければと思います。この485万7,817円の内訳が5ページ目。5ページ目を見ていただきますと、支出の項目としてそれぞれの記載がございます。ここの支出で特筆すべき点といたしましては、科目の2つ目ですね。修繕費、こちらです。例年ですと、一昨年と比較しますと、一昨年が5万6,176円でした。87万円の投資としましては、施設の自動ドア、また火災報知器等の整備をさせていただいております。

お戻りいただきまして、4ページ目になりますけれども、今までの説明で売上げは減っているのに、支出がこういったものも含めて若干微増という状況にあるというのは大丈夫なのかというお話になろうかと思いますが、科目名のそのあと、営業外収益の欄を御覧ください。こちらには利息、委託金等、委託金は指定管理委託料ですけども。その下、雑収入がございます。この雑収入はコロナ禍における国・県・町の支援金、いわゆる持続化給付金等を含めました収入が244万4,000円ございました。これは例年はゼロの部分でございます。こういった収入を活用いただきながら施設を運営され、さらに先ほど申し上げた修繕等にも積極的に実施をされたということが状況でございます。

そうしますと、最終的に損益計算書の右下になりますが、差引きで当期の純利益といたしましては63万2,149円と、昨年度まではマイナス、ほんとにマイナス少しの金額だったんですけども、こういった状況の中、この数字となっております。

おめくりいただきまして6ページをお願いいたします。貸借対照表でございます。こちらにつきましては左が資産の部、右側が負債の部ということで、負債と純資産の部ということになっております。資産につきましては、現金等を含めまして697万5,804円と。純資産の部のところを少し御覧いただきますと、資本といたしましては株式等で656万5,869円、資本金としての500万円プラス利益剰余金として、先ほど申し上げました当期の純利益、また昨年度からの繰

越剰余額、こちらを合わせまして150万5,869円ということでございます。

7ページ目を御覧ください。監査報告書でございます。5月10日に監査を実施していただき、各種諸表を御覧いただき、適正に処理されたものと御確認を鍵和田監査役からいただいております。

おめくりいただきまして、8ページ目ですね、令和3年度の事業計画につきましては、記載のとおり、利用者のニーズ、サービスの向上を図る、効率性のある事業を展開するというところで計画をなさっております。

9ページ目でございます。令和3年度の予算書でございます。前年度比較の表となっておりますが、前年度比較で約40万円多い576万6,000円となっております。歳入歳出ともにそうなのですが、主な要因といたしましては、先ほど来申し上げている繰越金が150万5,869円という中で予算規模の膨らみかなということでございます。

説明については以上でございます。よろしく願いいたします。

議 長 担当課長の報告が終わりました。これより質疑に入ります。
質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。以上で報告を終わります。